

学校だより NO. 12

# たきのみや



令和4年10月4日 綾川町立滝宮小学校 発 行:宮谷 恭彦

## 令和4年度も はや折り返し

暑かった時期が過ぎ、朝夕涼しさを感じる季節となりました。体調管理が難しい時節柄、 毎朝の体温測定や健康観察の継続、御協力感謝いたします。

学校では、子どもたちが実りの秋を求めてスポーツに芸術に、そして読書に頑張っています。早いもので令和4年度も残り半年間となりました。

先日、3年生の国語科の研究授業がありました。「サーカスのライオン」を教材として、ライオンのじんざや男の子の気持ちを熱心に読み深めていました。お家の方も覚えのある方もいらっしゃるのではないでしょうか?

3年生の子どもたちは、本当に相手を大切にして、きく姿が育っており、活発な意見交換も見事でした。

「サーカスのライオン」の作者川村たかしさんは、「一 人では生きていけない。誰かに支えられ、そして誰かの



支えとなって、はじめて生きていける。」ということを伝えているのではないかと思います。 子どもたちがライオンのじんざと男の子との交流を通じて、そのメッセージを子どもなりに 感じ取ってくれればと、活躍する子どもたちに向かって、心の中でつぶやきました。

#### 第3回授業参観・修学旅行説明会! ありがとうございました

「今日は、お家の人が来てくれるよ。」「ドキドキ・ワクワク。」と、子どもたちの声。30日(金)は、授業参観・修学旅行周知会に大変お忙しい中、お越しくださりありがとうございました。

小学校にも慣れた1年生、タブレットを使いこなす2・4年生など 子どもたちの学習の様子がご覧いただけたと思います。コロナ禍の中 人数制限や分散開催等に、ご協力をいただきありがとうございました



## 今後の主な行事予定

10月 5日(水)綾歌郡小学生陸上記録会(雨天順延)5・6年生下校12:30

7日(金)人形劇団「京芸」鑑賞

13日(木)2W研究授業

2 W 以外下校 14:00 2 W 下校 15:00

血圧測定実施(4年)

- 14日(金)郡教育文化祭(科学・音楽)
- 15日(土)郡文化祭(展覧会、綾上小)
- 17日(月)小児生活習慣病採血(4年)
- 19日(水) 教員研修 下校 12:40
- 20日(木)学校諸費引き落とし
- 22日(土)再資源回収
- 24日(月)弁当の日
- 26日(水) 要請指導訪問 下校 14:30
- 27日(木)教員研修

下校 12:40

1 1月 9日(水) 就学時健康診断下校 12:40

10日(木)~11日(金)修学旅行 京阪神方面 一泊二日



- 14日(月)⑥クラブ
- 16日(水) 教員研修 下校 12:40
- 18日(金)教員研修 下校 13:40 学校諸費引き落とし
- 12月 9日(金)マラソン大会
  - 21日(水)期末懇談会
  - 22日(木)期末懇談会
  - 23日(金)第2学期終業式





## ~食生活を振り返ろう~ 給食委員会



給食委員会の子どもたちが動画を作成して、全校生に "食生活を振り返ろう"と、呼びかけました。

動画では、感染対策を講じた給食のきまりを確認するとともに、栄養教諭の石川先生、給食調理員さんへのイ

ンタビュー、取材などを通じて、衛生に気を付けて一生懸命作っていること、残菜が多いときがあって少し心配なことを伝えました。 そこで、感謝して残さず食べようということで、完食チャレンジを全校生に呼びかけました。



### 生きた教材 給食の重要性とは?



9月29日(木)の給食には、国産農畜水産物無償提供事業(コロナ禍によって需要減食材を無償提供)で、香川県産マダイを使用した「マダイのレモンソースかけ」が登場しました。

香川県水産課の方もお越しいただき、1年生や全校生に、

えさや漁法、タイとのかかわりなどのタイのお話をしていただきました。子どもたちもとってもおいしそうに食べていました。学校給食は「生きた教材」と言われます。なぜなのでしょうか?自問自答してみました。 次の5つの答えを導き出しました。

1 毎日食べる

「日常性」

2 子どもたちにとって身近である

「親密性」

3 同じものを食べる

「共通性」

4 食べるという活動が伴っている、実体験になる「体験」

- 5 栄養面で教育的に配慮されている。モデル「標準性」
- 6 地場産品の活用、地域性、学校ならではのメニュー「創作性」

単なる「食べる」ということではなく、他の教育活動に波及させることができる重要な教材だと思います。

1つ目に「毎日食べる」とあります。約45分の給食の時間は年間に190回位ありますが、190時間とすると、年間に使う時間としては、小学校だと国語に次いで多い時間です。算数の時間よりも給食の時間の方がトータルすると長いのです。毎日ある給食は、国語科と匹敵するくらい重要な指導の時間帯ではないかと思います。



水産課の方からタイの話を聞く1年生



